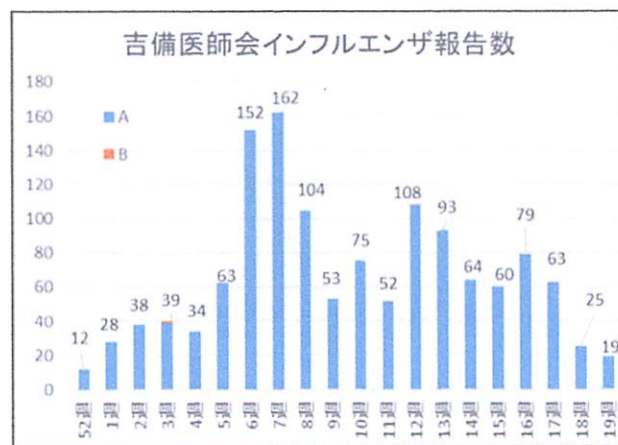
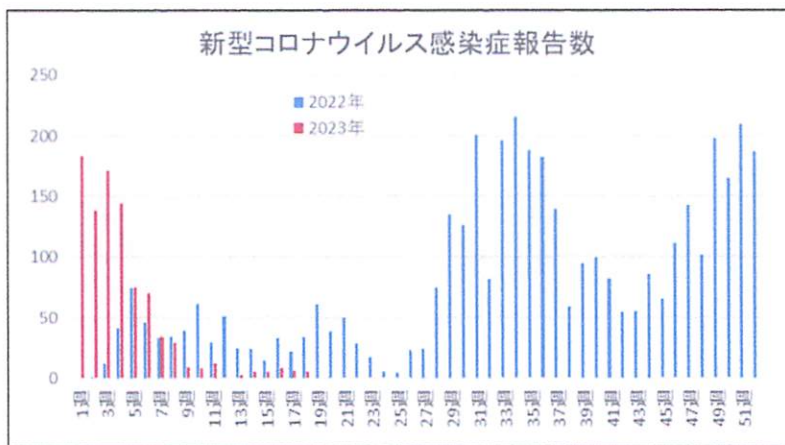


週間感染症情報

2023年19週 2023年5月8日より2023年5月14日まで

麻疹		新型コロナウイルス感染症が5類移行後の19週の報告です。発熱外来の受診者は多くありません。
風疹		当院は高齢者も多いため、院内感染防止のためマスク着用で対応しています。窓口で検温して発熱患者は車で待機してもらい、医師が問診後別室で診察しています。また、コロナ感染が疑われる患者さんは時間を指定して受診してもらっています。
水痘(みずぼうそう)		総社市内4診療所でのコロナ患者の報告は、ゼロにはなりません。小児の報告もありますが、家族内感染が多いようです。
ムンプス(おたふくかぜ)		インフルエンザAは、東小関連の報告が多く、学級閉鎖も出ています。コロナと違い、発症後の感染が主であり、感染対策も浸透しており家族内感染は少ないです。まさにインフルエンザは、コロナ対策で予防できるということが証明されました。
百日咳		溶連菌感染症の報告が続いています。咽頭痛・発熱。発疹の典型例もみかけます。
溶連菌感染症	5	感染性胃腸炎の報告は多いです。嘔吐を主とするノロウイルスと思われる症例や、下痢を主とする症例など、複数のウイルスが流行しているようです。焼き肉関連のカンピロバクター陽性例がありました。高熱と嘔吐で始まり、初期はコロナを疑われていました。
手足口病		普通の生活がもどってきて、色々な疾患に罹患することが増えて、乳幼児の発熱が増えています。
ヘルパンギーナ	3	麻しん患者の新幹線での移動で二次感染者が出ています。1歳になったらすぐにMRワクチンを接種しましょう
伝染性紅斑		小児の予防接種率の低下が心配です。コロナも含めてワクチンで予防できる病気はワクチンで防ぎましょう。
感染性胃腸炎	56	
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	3	
RSウイルス感染症	3	
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	19	
インフルエンザ A	19	
インフルエンザ B	0	
新型コロナウイルス感染症	9	



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子